

サークル研修会報告 「ところ産食プロジェクトリーダーに聞く」

所沢の自然と農業サークル
食を通して所沢を知る会

私たちは、所沢市の活性化活動の一環として、2013年5月に設立した農工商一体となって地産地消を進める「ところ産食プロジェクト」を応援しています。

今回「ところ産食プロジェクト」関連研修会の第3弾として、昨年農家さん代表である、よしだ農場の吉田代表及び、流通を担っている corot の峯岸代表取締役を講師に迎えての研修会に引き続き、プロジェクトリーダーの高橋さん（ケーキ屋さんエミールの代表取締役）を講師に迎え研修会「ところ産食プロジェクトリーダーに聞く」を、2サークルで開催いたしました。

1. 日時・場所：2016年6月9日（木）13:00～15:00 中央公民館 学習室1・2
2. 内容：①ところ産食プロジェクトの3年間の活動成果と今後の方向性
② 質疑応答
3. 参加者：ところざわ倶楽部会員、所沢市民大学23期・24期企画委員&受講生、市民大学ファームの会、秩父学園みどりの応援隊、東京農工大学 淵野先生、農業振興課職員、とこなびサイト主宰者等、38名と多くの方々に参加して頂きました。



■高橋リーダーの講演内容のポイントと感想

- ・プロジェクト立ち上げに対する思い・・・所沢に18年間住み、商いをさせて頂いたことに対する感謝・恩返しの気持ちとして、何か地域の活性化に貢献できることが無いかと考え、行動を起こした。
- ・プロジェクトメンバー間の交流・・・農商工のネットワークづくりによる情報の共有化と問題発生時には相談し合える様な組織づくりにより相互のレベルアップを図っていく。
- ・消費者への思い・・・所沢には、本当に美味しい野菜が沢山ある。安全で安心な所沢の野菜を提供することで、消費者の皆さんにも美味しさを知って頂き、購入できる様に働きかけて行きたい。
- ・プロジェクトを進めて感じたこと・・・所沢には農商工に素晴らしい人材がいる。

地域への感謝・恩返しの「思い」を、大きなプロジェクトに繋げた「行動力」と、吉田農場さん始め農家の方々との深い付き合い、流通を担っている峯岸さんや所沢の「商」を知り尽くしている小久保さんとの連携など、人と人の繋がりを大切にして仲間の輪を広げている「人徳」が、リーダーたる所以であり、プロジェクトの成長に繋がっているのだと感じました。

■今年度のプロジェクト活動・・・野菜の生産・販売の地産地消活動に加え下記の取り組んでいる。

- ・筑波大坂戸高校との連携によりヨーロッパ野菜の苗の購入を行い、若手農家の新たな挑戦の手助けを行っている。(農家では苗の育成には手間がかかる大変な作業)
- ・航空公園での読売カーニバルで、朝採りの蕪の販売を行い、市民に所沢野菜の美味しさを知って貰った。
- ・西武調理師専門学校と共催で、所沢野菜を使った料理教室を年間6回行い、プロジェクトの料理人を講師に派遣し、市民に所沢野菜の美味しさや調理法を知って貰うと共に、学生の実習や就職の受け皿にもなっている。
- ・プロジェクト参加農家の圃場見学を定期的に行い、商店の皆さんに農の理解を深めてもらっている。又、消費者への働きかけの場として「親子で農体験」なども考えている。
- ・西武デパートやスーパー等への発信基地(アンテナショップ的なもの)も順次実現予定。
- ・健康促進プロジェクトとの一環として、西武デパート、所沢市観光課、リハビリセンターなどとの連携も進めている。

立ち上げて僅か3年のプロジェクトが、今やどこまで広がるのか予測がつかない程、多方面との連携・活動が拡大しているのに驚きました。

しかも、どの活動もプロジェクト設立の主旨に沿ったもので、高橋リーダーが再三言っておられたプロジェクト運営で一番注意しているのは「**ブレない方針**」に則ったものだと感心しました。

一方で、組織が大きくなるにつれて様々な課題も出てきており、コツコツと解決に取り組んでいるとの話もあり、組織運営の難しさもあることを知り、解決への取り組み方も人柄を感じました。

■質疑応答・意見交換

- ・所沢産野菜の地元スーパーなどでの優先的販売などへの働きかけはどうしているか
- ・使用する野菜の栽培方式(自然、有機、減農薬など)へのこだわりはあるか
- ・加工食品に使われる合成添加物に対してどのように配慮しているか
- ・加盟店で所沢産の野菜の使い方をもっと積極的に客に発信したらどうか。
- ・加盟店で購入したり食したりする時には生産者を聞く様にしている。

等々、色々な質疑応答や意見交換が有りました。

色々な質問が出ましたが、丁寧に応えていただきました。

今回は30分程度の時間しか取れませんでした。消費者が期待していること、消費者に期待することなど、プロジェクトメンバーの方々との意見交換する場があると楽しいと思いました。

■「ところ産食プロジェクト」関連三回の研修会を終えて

プロジェクトの現状は決して利益を生むような状況ではないと思われる中で、農商工の方々が商売抜きで地域の活性化のためにプロジェクト活動を進めていることに敬服しました。

一方、農商工連携を深めつつ、消費者との接点の拡大や掘り下げも必要であると感じました。

※私たちは、消費者の立場と地域貢献に取り組んでいるサークルとして、更なる連携と応援をしていきたいと思えます。

※今回の研修会に参加して頂いた方々が、「ところ産食プロジェクト」に興味を持って頂き、たまにはプロジェクト加盟店でランチし、地元野菜を買って応援して頂けると幸いです。

※高橋リーダー、吉田・峯岸両サブリーダーさん、ありがとうございました。

[<ところ産食プロジェクトのホームページ>・・・時々、覗いて見てください!](#)

<http://www.tokopro.net>

https://ja-jp.facebook.com/tokoro.sanshoku.p/info/?tab=page_info